

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5460m付近の寒冷渦直下に、最大風速50kt [SW級]以上の発達した低気圧が南鳥島近海にあって、東進。この低気圧やアリューシャンの南付近を波源とするうねりにより北～西日本の太平洋側や南西諸島では波が高く、大しけとなっている所がある。
- ② 大陸に高気圧があって、日本付近に張り出している。日本付近は高気圧に覆われて、全国的に晴れている所が多くなっている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、15日は日本のはるか東へ進み、16～17日はゆっくり北上する。この低気圧、および気圧の傾きが大きいアリューシャンの南付近を波源とするうねりにより、波が高く大しけとなる所がある。伊豆諸島と小笠原諸島では15日は、うねり伴った高波に警戒。北～東日本では17日にかけて、西日本と南西諸島では16日にかけて、うねりを伴った高波に注意。
- ② 1項②の高気圧は、南東に移動し17日は中心を日本海へ移す。日本付近は17日にかけて、高気圧に覆われて晴れる所が多くなる。日中の昇温により、なだれの発生しやすい状況となるため、北～西日本の積雪の多い傾斜地では17日にかけて、なだれに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。なお、2項①のうねりは、モデルよりも影響が強く残りやすいことに留意。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
- ③ 波浪(明日まで)：小笠原諸島8、伊豆諸島6、沖縄5、その他広い範囲で3～4m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。